

春はお祝いシーズンです！

みつまめ通信

2017春
超特大号

発行日：平成29年5月10日
編集&発行：(有)川戸工務店
TEL：0463-92-0348
FAX：0463-96-1571
Email: info@kawado-k.co.jp
HP: http://www.kawado-k.co.jp

桜はつぼみ、笑顔は満開

串橋雷電神社例大祭 が行われました

■毎年四月の第一週の日曜日は地元串橋の雷電神社例大祭です。今年は4月21日で、例年であればお祭り前後に桜が満開になるのですが、一週間ほど前から寒の戻りでつぼみが開きませんでした。恒例の子供神輿ではイベント長さんの大きな掛け声に子供達も負けじと「わっしょい、わっしょい」と大きな声で神輿を担ぎ、ほっぺたを赤くした笑顔はまるで満開の桜の様でした。今年は歩く距離を短くして、太鼓を叩く時間が長くなりました。休憩場所では子供達が山車の上で太鼓演奏のお披露目をしました。家族の方々やギャラ

リーが大勢集ったので少し緊張した様子でしたが、連日の練習の成果が出てみんなとても上手に叩けていました。そのころ神社では、長命会主催のカラオケ大会がなごやかに開催され、のど自慢の歌声が境内に響き渡っていました。長命会会長の杉崎徳雄さんは「若者に負けない様に頑張っています！」と元気なコメントをくれました。自治会、神社総代、各役員さん達の活躍で年々盛り上がる串橋の春祭り、来年もより一層盛り上がる様に、わたしも広報活動を頑張りたいと思います。



●イベント長さんと御神輿をかつぐ子供達



●長命会会長の杉崎徳雄さん、とても歌が上手です。



●自治会、神社総代の皆さんお疲れさまでした。

1300年以上の歴史！

4月22日 三ノ宮比々多神社例大祭 山車と暴れ神輿に同行

■今年は土曜開催だったので沢山の人で賑わいました。心配していた雨にも降られず、暴れ神輿は氏子の大きな掛け声で元気に街道を練り歩

きました。そう言えば、「イヤートーサッセ」は、「弥遠（いやとお）に栄（さか）えたまへ」と言っているそうです、初めて知りました！



●三ノ宮地区を練り歩く御神輿



●写真手前から、三ノ宮・栗原・神戸の会長

■チマキ行事が終わった後は全体写真の撮影会です。皆さんの勢いに押されて緊張しましたが、楽しい雰囲気の良い写真になりました。



●三ノ宮比々多神社氏子の皆さん。総勢118名 撮影人数の新記録になりました。

お知らせ

串橋自治会館落成記念冊子にコメント掲載！

★5月7日（日）串橋自治会館の竣工式で参加者に配布された「落成記念冊子」にわたしのコメントが載りました。以下文面

■「防災は地域の連携から！」

地震・水害などの災害発生直後に公的支援が届くまでは、地域住民の協力体制が必要不可欠です。被害状況、安否確認など近隣の方々と問題が把握でき、災害の減少につながります。災害時に限らず、防災資材や機材の整備と充実をはかり、「防災拠点」となるのが新しい自治会館です。

住民ひとり一人が地域活動に参加することで、顔の見える関係ができ、自分や家族を守ることにつながります。住民の連携を深める事により、自治会館は「共助

の場となり、文字通り「防災拠点」となると思います。

防災指導員 川戸光久



●落成式の様子



●落成記念冊子



●記念写真 中央：建設委員会会長 端山建一さん 各自治会役員の皆さん

見ればなるほど！

川戸工務店の家づくりは「安心・安全」が基本！

★住宅を支える基礎は縁の下の力持ち！見えない所もガッチリしてます



1・D13鉄筋を20センチ間隔で組みます。鉄筋の下に敷かれているサイコロの大きさは一辺7センチで、コンクリートの被り厚さを確保します



2・地盤下30センチまでセメントを流します。先に塩ビの筒を入れる事で、後から鉄筋を切ることなく配管作業が出来ます。後施工は要注意です。



3・数日あけて立上り部分の型枠を組みます。コンクリート厚は17センチあり、家の荷重を底板全体で受け止め、負荷を分散して建物を支えます。



4・空洞が出来ないように機械で振動を与えます。この作業を確実にやる事で綺麗な基礎肌になります。丁寧な職人さんかどうか見分けられるポイントです。



5・1M以上離さない様にアンカーボルトを入れます。施工面積15坪でだいたい100本位です。長い棒はホールダウン金物と言って柱に繋がります。



6・ボルト位置を計算して土台に穴あけを行います。水平±1.5mmの誤差しかないので、高さ調整無しで基礎パッキンを挟めます。素晴らしい仕上がりです。

長く愛される秘密に触れる

名古屋へタカラの工場見学に行ってきました

■タカラと言えばホーローが有名ですよね？では、ホーローはどの様に作られているのかご存じでしょうか？わたしも知りませんでした。簡単に説明すると次の①～④になります。



●名古屋工場 ホーロー製品の製造組立をしています

- ①世界各国から集められたガラスの原料を調査します。
 - ②マグマの様にドロドロに熱してからチップ又は粉末にします。
 - ③粉末から泥水に似た釉薬（ゆうやく）を作り鉄板に塗ります。
 - ④鉄板を高温の窯で焼く。冷えればホーロー製品の完成です。
- この工程を含め組立までを二カ所の工場に分かれて行っていました。自動化が当り前の世の中ですが、意外にも手作業が多く、物づくりへの熱意を感じてファンになりました。



●南フリット（株）ホーローの素を作る工です

■日本のホーロー製品の素になるほぼ全てのガラスチップがこの工場から出荷されています。調査の違いで焼き上がりの色が決まるそうです。なるほど、勉強になりました。

■厚木にショールームがオープンしました、ここに行けば最新の商品が見れます、是非ご利用ください。



●県下最大級の品揃えです。厚木ショールーム 厚木市岡田一丁目3-5 TEL046・280・6193

江崎勝久（江崎グリコ社長）のことは 絶えまない努力が 結果的にロングセラーをつくる

■代表商品の一つ「ポッキー」は今年で50周年を迎えるロングセラーとなり、いまや世界で年間5億個を売る。他にも「ビスコ」「ブリッツ」「プッチンプリン」など、国民の誰もが知る



ロングセラーが数多くある。創業者・江崎利一氏は、グリコキャラメルの発売にあたり、目立つ赤い箱、「一粒300メートル」のキャッチコピー、おまけのおもちゃなど様々な創意工夫で、森永キャラメルに対抗した。その創業以来の精神が、受け継がれ、ロングセラーを生み出す原動力になっているという。 ※事務所だよりから抜粋

プラスワン 嬉しいの大好き

■篠生文男さん宅のシナモン君 とても愛想がよくて人に吠える事はほとんど無く、つぶらな瞳で体を摺り寄せてくれます。膝に乗るのが大好きで、いつもわたしの手を餌の様に夢中で舐めてくれます、かわいいです。



編集後記

■今年一月に、佐藤則行前自治会長から防災指導員の推薦を頂きました。消防団14年の経験と持ち前の顔の広さで、防災対策の必要性を広めてほしいとの依頼でした。関東でもこれから30年以内に70%の確率で大きな地震が起きると言われています。信じる信じないは自由ですが備えは必須です。いざと言う時に役立つように、防災についてもみつまめ通信で触れて行こうと思います。

